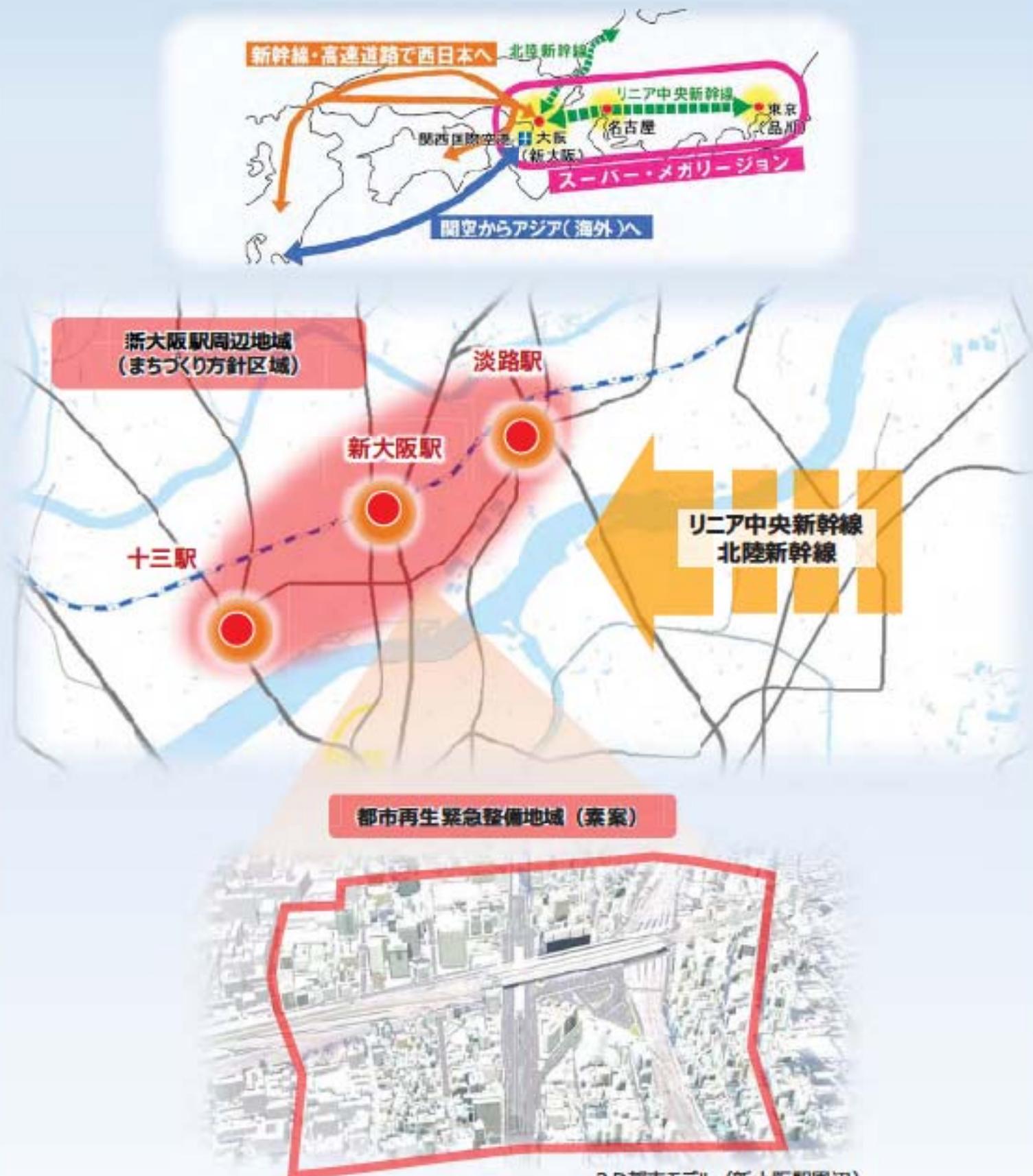


# 駅とまちが一体となった 世界有数の広域交通ターミナルの まちづくりの実現をめざして

～新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針2022～



3D都市モデル（新大阪駅周辺）

# 「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針2022」概要

スーパー・メガリージョンを形成するリニア中央新幹線をはじめ、北陸新幹線、大阪都市再生環状道路などの高速交通ネットワークの形成が進む中、新大阪駅周辺地域を一体的なエリアと捉え、駅とまちが一体となった世界有数の広域交通ターミナルのまちづくりの実現をめざします。

今後、民間都市開発の誘導等を進めつつ、リニア中央新幹線・北陸新幹線の駅位置が示されれば、まちづくり方針の更新を行っていきます。

## 全体構想

(新大阪・十三・淡路 各エリアの分担イメージ)



## 新大阪駅エリア計画・都市再生緊急整備地域 (素案)

### (民間都市開発プロジェクト)

- エリアの価値向上に向けた  
大規模な敷地の民間都市開発  
※都市再生制度(容積率の緩和等)の活用

### (新幹線新駅開連プロジェクト)

- 広域交通結節施設の機能向上  
人の空間拡充・高速バスの拠点化  
※新幹線新駅の位置を踏まえて検討を具体化



## 新大阪駅周辺地域のまちづくり これまでの経過

- 内閣府より、都市再生緊急整備地域の候補地域として公表（2018年8月）
- 「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会」設置（2019年1月）
- 「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針2022」策定（2022年6月）
- 内閣府へ都市再生緊急整備地域の指定の申出（大阪府・大阪市 2022年7月）

# 都市再生制度に関する基本的な枠組み（都市再生特別措置法関連）

## 都市再生本部

本部長：内閣総理大臣

副本部長：内閣官房長官、地方創生担当大臣、国土交通大臣  
本部員：本部長及び副本部長以外のすべての国務大臣

都市再生に取り組む基本的考え方（H30.4.26本部決定）

都市再生基本方針（閣議決定）

・都市は国力の源泉  
・選択と集中

都市再生緊急整備地域52地域（政令で指定）

重点化

都市の国際競争力の強化

特定都市再生緊急整備地域15地域（政令で指定）

地域整備方針（都市再生本部決定）

都市再生緊急整備協議会（官民で組織）（23地域）

都市計画等の特例

都市再生特別地区  
（都市計画決定）  
容積緩和、道路上空建築  
(110地区)

都市計画提案制度

都市再生事業に係る  
認可等の迅速化

民間都市再生  
事業計画  
（国土交通  
大臣認定）  
(147計画)

税制特例  
金融支援

整備計画  
（特定地域  
のみ）  
14地域  
19計画

予算支援

都市  
再生  
安全  
確保  
計画

予算  
支援

駐車  
施設  
配置  
計画

候補地域（0地域）

\*緊急整備地域数及び候補地域数については、令和4年10月28日時点

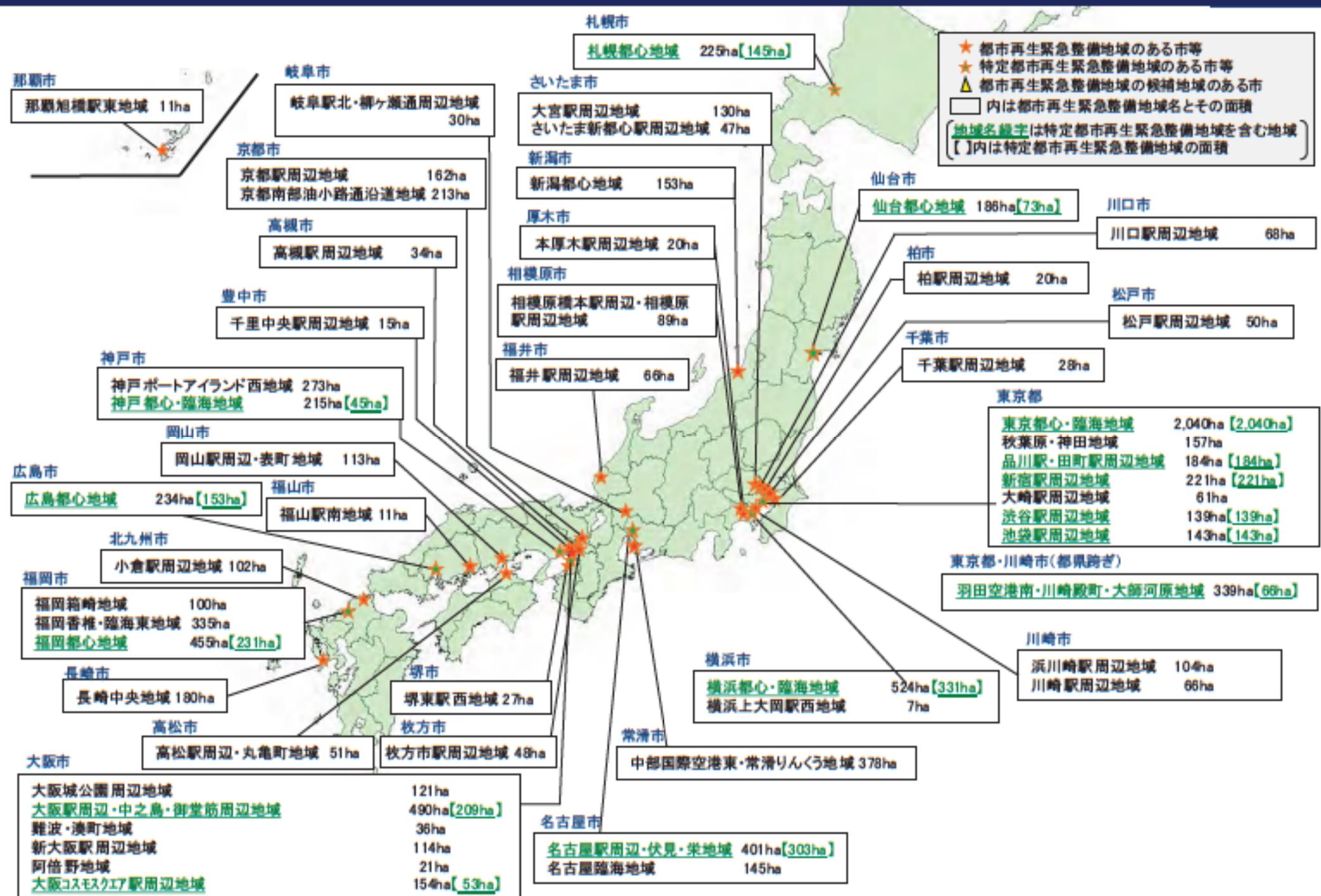
都市再生特別地区数および民間都市再生事業計画数については、令和4年4月1日時点  
その他計画数等については、令和4年3月31日時点

「都市再生緊急整備地域」とは、都市の再生の拠点として、都市開発事業等を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進すべき地域として政令で定める地域をいう。

「特定都市再生緊急整備地域」とは、都市再生緊急整備地域のうち、都市開発事業等の円滑かつ迅速な施行を通じて緊急かつ重点的に市街地の整備を推進することが都市の国際競争力の強化を図る上で特に有効な地域として政令で定める地域をいう。

「候補地域」とは、近い将来における政令指定の意向を関係自治体が持つものの、都市開発事業の熟度や関連計画との整合等が指定レベルに至っていないなどの場合に、必要に応じて設定・公表する地域をいう。

# 都市再生緊急整備地域 (52地域 約9,536ha : うち特定都市再生緊急整備地域 15地域 約4,336ha)



# 大阪市における都市再生の取組み

【大阪駅周辺地域】



※ 計画及び開発中のプロジェクトを示す

凡例

- 都市再生緊急整備地域
- 特定都市再生緊急整備地域
- 都市再生特別地区

新大阪駅周辺地域 (候補地域)

大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域

【天王寺駅周辺地域】

⑪大手前一丁目地区

大阪城公園周辺地域

大阪京橋駅・  
大阪ビジネスパーク駅周辺地域

大阪駅周辺地域

中之島地区

御堂筋周辺地域

難波・淡路地区

淡路地区

難波地区

阿倍野地区

【中之島地区】



【御堂筋周辺地域】



夢前まちづくり  
新たな国際観光拠点の形成

大阪コスモスクエア駅周辺地域



【難波地区】

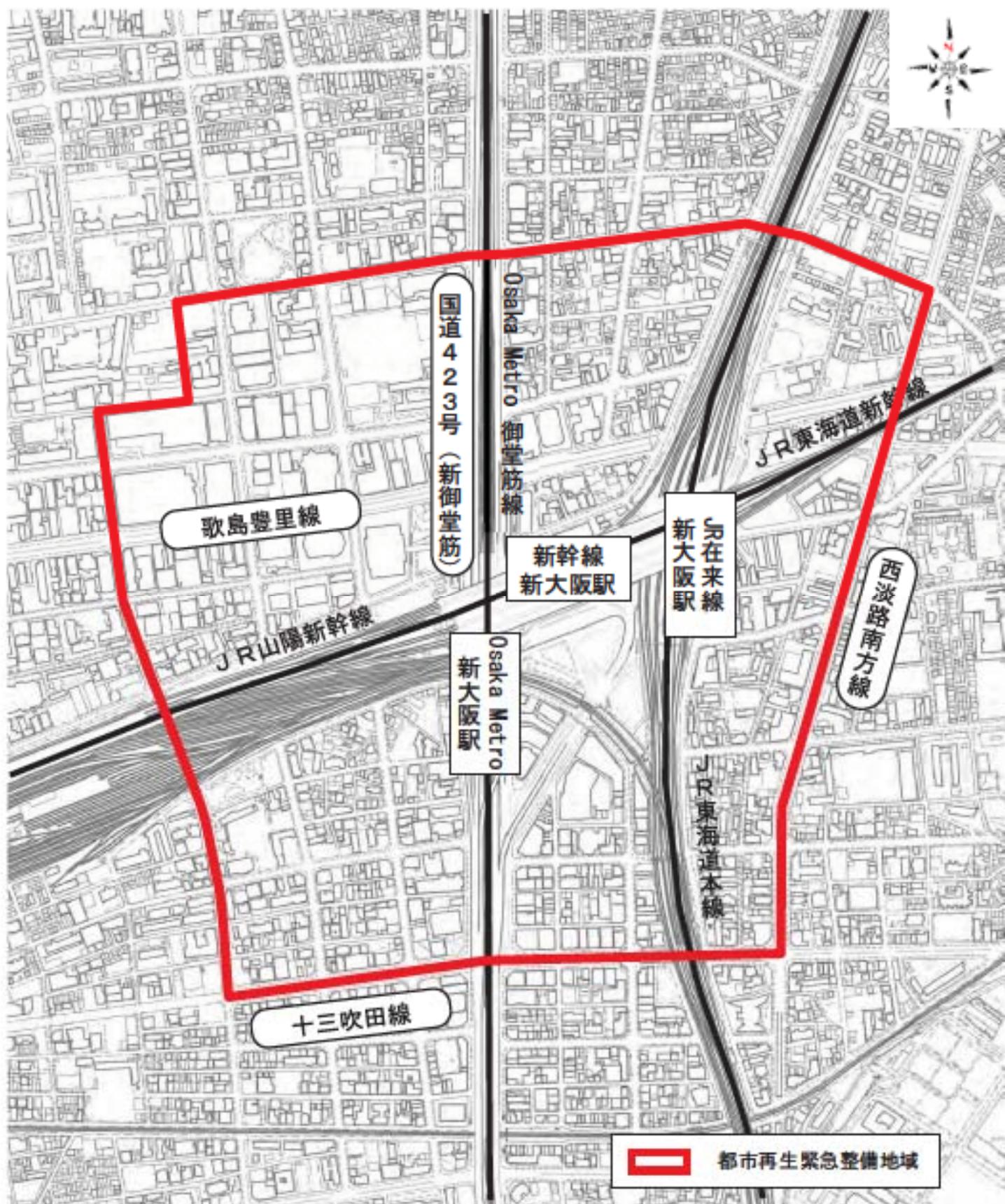


天王寺公園への復興活力  
導入による魅力向上

阿倍野地区



# 新大阪駅周辺地域 <114ha> 区域図



0

500m

1000m

## 地域整備方針

(大阪市)

地域名称	整備の目標	都市開発事業を通じて増進すべき 都市機能に関する事項	公共施設その他の公益的施設の 整備に関する基本的事項	緊急かつ重点的な市街地の 整備の推進に関し必要な事項
新大阪駅周辺地域	<p>〔都市再生緊急整備地域〕</p> <p>国土において、スーパー・メガリージョンを形成するリニア中央新幹線をはじめ、北陸新幹線、大阪都市再生環状道路などの高速交通ネットワークの形成が進む中、新幹線や広域幹線道路などの国土軸と、世界につながる関西国際空港から大阪の都心を通る都市軸が交わり、関西の各拠点を結ぶ広域交通の結節点である新大阪駅を中心に、近接する十三駅エリア及び淡路駅エリアと一体となって、広い圏域の人と人との交流を促進するとともに、異なる交通モードを効果的に結節し、世界につながる関西のゲートウェイとしてふさわしい都市の空間を兼ね備え、災害にも強い、日本の成長を支える国際的な都市拠点を形成し、広域交通ターミナルを核とした世界有数のまちづくりを実現</p>	<p>関西・日本・世界の広い圏域とつながる特性を活かして、人が集う拠点として、新しいビジネス・文化の創造、新技術の実証・導入、新たなライフスタイルの構築のために、駅を中心に交流促進機能、交通結節機能、都市空間機能の向上を図るとともに、都市開発事業と公共空間の活用を連携させ、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ グローバルな業務機能、高度で多様な業務機能、学術・研究機能、情報発信機能、スタートアップ支援機能、ハイクラスの宿泊機能、観光機能、文化・芸術機能、エンターテイメント機能、MICE 関連機能、これらをサポートする商業・居住機能などの導入を図り、質の高い機能が集積した複合市街地を形成</li> <li>○ 駅とまちを繋ぐ人の通行・滞留機能、多様な人が集う交流機能、緑、光、水などを取り入れたうるおいのある空間機能及び独自性の高い商業・文化などの機能の充実による魅力的な低層部の形成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 鉄道と道路とまちをつなぐ新大阪駅と駅南側の交通結節施設などにおいて、平常時・災害時に対応する歩行者の空間、自動車等交通（高速バス、端末交通）の空間、サービス空間の機能の向上</li> <li>○ ベデストリアンデッキやグランドレベルの歩道などを組み合わせることで、新大阪駅とまちを繋ぐ重層的な放射状の歩行者ネットワークを強化し、都市開発事業と公共空間の活用を連携させ、居心地が良く歩きたくなるまちなかの形成を図る</li> <li>○ 鉄道事業者が中心となって検討を進める新大阪連絡線構想（新駅を含む）などにより、新大阪と十三を繋げ、大阪駅周辺・京阪神方面・関西国際空港方面との利便性の向上を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 都市開発の促進、MaaS や次世代モビリティなど新しい技術の実証・実装の促進、エリアの価値の持続的な維持・向上などのエリアマネジメントの推進</li> <li>○ 3D 都市モデルなどのデジタル空間などを活用した都市づくりの推進</li> <li>○ 災害時の帰宅困難者対策等の防災対策の推進</li> </ul>

- |  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 建物全体及び低層部の空間の意匠や形態の工夫などによる質の高い都市景観の形成</li><li>○ 駅の交通結節機能を補完するとともにエリア全体の回遊などを促進し、交通利便性向上に資する歩行者、自転車、自動車などの交通関連機能の向上</li><li>○ 地震・水害時などにおける人の退避機能や雨水の貯留機能などの都市防災機能の向上</li><li>○ 都市の環境負荷低減に資するエネルギー、緑などの都市環境機能の向上</li></ul> |  |  |
|--|--|--|--|